

●タイムデザイン

創業年：1996年
代表者：塚田秀伸
事業内容：スポーツウェア、シューズほか、企画デザイン

資本金：非公開
売上高：非公開
従業員数：非公開

所在地：東京都中央区兜町9-11-501
電話：050-3448-3133
URL：http://runpic.net



企画商品

まちびと

紳士録

#011

つかたひでのが
塚田秀伸

1965（昭和40）年9月30日、東京の月島で生まれ育つ。月島第一小学校卒業。趣味はランニングやバイク、旅。ロックなど音楽全般に詳しく、DJならお任せだ。好きな店・おススメ：よく行くのは兜町「鰻 松よし」、茅場町「炭火焼鳥一善」。ランニングコースでもある隅田川沿いのテラスは景色もよくおススメ。榮太郎の黒鉛を頼張って走る。

東京
日本橋

●日本橋めぐりの会 遠藤梨栄

ますづくりネットワーク

〈最終回〉

日本橋界隈を舞台に、まちづくりに取り組む人々とその活動などを紹介。まちを愛し、奮闘する「まちびと」の輪をリレー形式つなごう。



「鯨と海と人形町」の碑：画家松橋博と彫刻家中田浩嗣による作。人形町は江戸時代、歌舞伎「市村座」「中村座」や操り人形「結城座」、人形浄瑠璃「薩摩座」（後の文楽）など芝居小屋が並び、界限には人形師や人形を商う店も集まっていた。今でも文楽人形の仕掛けのバネには、鯨のひげが使われている。



「日本橋かるた」制作委員会若手浮世絵師6代目歌川国政さんの絵札を前に盛り上がるメンバーたち



楽しみながら参加できるのが魅力という「ランビクトウキョウ日本橋」



「ゴミを捨てないで」のメッセージを込めて船上から川のゴミ拾いをする

江戸時代から文化・商業・情報の中心地として発展してきた日本橋。「日本橋ルネッサンス1000年計画委員会」は平成11年、「かつてのにぎわいを取り戻し、豊かで潤いのあるまちに再生しよう」と立ち上げられた。3年前、人に紹介されてメンバーになった塚田秀伸さんは、「まずはできることから」が信条。地域のさまざまな活動に関わっている。

史や文化のこを知って地域へ愛着を持ってほしい」と制作メンバー。一昨年「日本橋の歴史、名所・旧跡、文化・偉人」をテーマに読み句を募集したところ、全国から4千通の応募があった。中央区長や作家ねじめ正一氏など日本橋に縁のある審査員らに選句し、初版5千部の約半数が地元小学校に無償配布された。学校では授業やかるた大会などで使われており、塚田さんは「絵札の原画展やイベントも企画していきたい」と意気込む。

「日本有数の商業地だが、観光の受け皿が足りない」と、昨年からのまちの名所を巡るランニングツアー「ランビクトウキョウ日本橋」を始めた塚田さん。職場と住居のある日本橋兜町でも町内会や消防団に入り、花植えや川のゴミ拾いに参加する。

まちづくりは
小さな一歩から

まちには多くの資源が埋もれている。資源を見出し、生かすことでまちは一層魅力的になる。課題を一つひとつ解決しながら、もてなす場・受け皿をつくっていく。昨日より今日、今日より明日、豊かで活気あるまちのために。小さな一歩が未来へ続く大きな一歩となるのである。



今号を持ちまして、本連載は終了させていただきます。長きにわたってご愛読ください。ありがとうございました。